**1月17日　Trunk株式会社　代表取締役社長・CEO　西本　涼　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

Trunkの「生まれた環境に関係なく、やる気次第でだれでも活躍できる世界を創る」というビジョンの「やる気次第」という言葉が心に刺さりました。つまり、環境が整っていても自分から行動を起こすことが出来なければ無意味ということだからです。結局最後は自分の意思次第なのだと痛感しました。「『○○がやりたい』という人はいるけど『それならなぜ今やらないの？』と思う」という言葉も印象的で口で言うのは簡単だが実際に行動して実績にしていることが評価されるのだと、“希望”だけで終わってはいけないこと、行動の大切さを強く感じました。自分が何を考えていても、相手に伝わって信じてもらえるのは行動した実績だと学び、肝に銘じました。（経営学部・経営学科・1年）

「今現在と５～１０年後なんて、環境も気持ちも変わっているから、あまり考えなくてよいが今何がしたいかは決めておこう」と言われて、なるほどと思った。自分がいま何をしたいのかわからないが、確かになぜわからないかその原因を考えたことはなかった。今日の講義で何であっても、まず行動しないとわからない、行動して初めてそれをしたいのかしたくないのかがわかる、ということを学んだ。大人が職業体験できる場、大人版キッザニアの話が非常に面白く、興味深かった。年齢に関係なくやりたいことをやりたいときにやるべきだ、という言葉が強く心に残った。（経済学部国際経済学科 １年）

前回も、この講義を聞きましたが、前回よりもさらに心に響きました。入学してからもうすぐで一年がたちますが、「自分が今何をしたいか。」「何か経験してみよう。」と考えずに過ごしてきました。いつのまにか、日々が過ぎ、もうすぐ二年になるときに、今日の講義を受けて、少し焦りました。将来のために必要なスキルや経験を得るために、今一度自分と向き合って考えを出していこうと思います。そして、就職活動時に、自分がやりたい、就きたいと思う会社に有利になれるよう努力します。(経営学部・経営学科・1年)

学生と企業を結ぶ会社ということで、西元さんの就職に対する考え方、「年齢や生まれた環境に関係なく活動できる就職」や「就職したい人が就職する」というような言葉は珍しい考え方ではありますが新しく面白い考え方だと思いました。TRUNKという会社は日本が地球上で最も教育環境が整っている世界をつくるという大きい目標をもっていて機会があれば利用したいと思った。(経営学部・国際経営学科・1年)

最初にお話を聞いたときに、TrunkってITが凄いんだ！！ってことに驚きました。私はお金を払ってRudyの勉強をしてみたり、HTML&CSSとかやってみたりしたので、もっと前に知りたかったー！！！って思ってます。そして、やりたい。とか、できる、とかでやったことのない分野があるっておっしゃられた時に、やりたいけどやってないことが沢山ある。と思いました。敷居が高いなどと言って行動しないことを反省しました。(経営学部経営学科)

大学に入ってから、いやでも就職のことを意識するようになってきた。しかし、今まで就職の状況を詳しく教えてくださる方はいなかったし、自分からも質問をしに行ったことはなかった。このような状況の中で今企業はどのような人材を求めているのか、どんな基準で採用を決定しているのかなどを話してくださって、非常に引き付けられた。実際に今日お話ししてくださったことは、これからの大学生活で何を意識すればいいのか、インターンをする上で自分はどんな技術、考えを獲得すれば未来につながるかを具体的に考えさせるものであった。また、それらの採用基準や就職システムに対する批判もあり、多元的に自分の将来についてみることができた。（経営学部　会計・情報学科　1年）

今回は就職に特化した話が聞けてよかった。来年就活する上で一番響いたのは「今何をしたいのか決めること」だということ。やはり、ゴールがないとどっちが前かわからないので進むことができない。そのためにもいろんな本を読んだり、いろんな人と話したり、実際にやってみたり、などの行動することが大切だ。もちろん、それだけでは不足していて、実行することが求められる。その体験をサポートしてくれるTrunkさんは今後の日本のためにも、とても素晴しいと思った。（経営学部　経営学科　2年）

「今何をしたいか」がわからないのは、経験が少ないからだ、というメッセージを聞いてハッとした。私自身、もともと教員になりたいという漠然とした思いを持っていた。大学生になり授業の中で実技を学んだり、学童でアルバイトをして、実際に子供と触れ合ったりして、今まで見えていなかった楽しさ、大変さが少しずつ見えてきた。これは経験をしたからこそ気がつけたことである。正直、まだ「本当に教員になりたいのか」という問いの答えは出せていないが、これからも体験を重ねて考えていきたい。さらに、これらの体験を通して、将来は教員一択、ではなく他の仕事にも目を向けてみようと思ったのでもっと幅広い体験、経験を重ねていこうと改めて思った。経験の大切さを再確認した。（教育人間　学校教育1年）

　今日の講義で特に印象に残ったのは、「3年以内に日本が地球上で1番教育環境が整っている世界を作る」という言葉でした。日本の教育環境に対して強い不満を感じたことはありませんでしたが、改めて見直してみると、就職活動を行う時期が決まっていたり、学生のうちに実務経験を積む環境が不十分であったりと、まだまだ改善の余地があるということに気づかされました。トランクが行っている事業は日本においてこれまでなかった革新的なもので、学生にとっても企業にとっても利益になるものだと思うので、より多くの人たちがトランクを利用してより良い教育環境になっていけばと感じました。（経営・国際経営1年）

「何をするか誰とするか」について深く考えろという言葉が私にすごく響きました。今まで就職することを当たり前のように考えていたけれど、本当に自分と向き合って真剣に考えなければいけないということを痛感させられました。（経営・経営システム１年）

「今何をしたかが重要」「信じてもらえるのは行動と実績のみ」という言葉はその通りだと思いました。今、自分がやりたいことなら行動力をもってできるはずだから、その起こした行動に伴う結果が必要だと思いました。過程が大事ともよくきくことばですが、化学を専攻している身として何事にも最終的な結果が重要であると思います。実績は自分の分かりやすい評価だと思うので重視されるのだと思いました。（理工学部・化学・生命系学科・２年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　現在、学業とサークル運営に追われていてアルバイトをする時間すらほとんどない状況で毎日を送っているため、インターンに興味はあるがなかなか足を伸ばせていない。今のところ研究職に就きたいと考えているため、“実績”は研究室で努力することも繋がると考えたが、研究の活かされ方はわからない。高校生のころには様々な会社で研究過程なども見せてもらってきた。さらに知識を持った今、再び足を運んで現場を見て考えることは、インターンよりもさらに短期間でできるため、忙しくても叶うと感じ、自分のためにもなると考えた。(理工学部科学・生命系学科　2年)

今やりたいことが見つからないのは今何もしていないからだという言葉に冷や水を浴びせられた気がしました。大学に入ってから何となく日々を過ごしてしまっていた自分を恥じました。自分が何をやりたいか考えるためにも、まずは何か行動するところから始めてみたいと思います。(教育人間科学部　人間文化課程　1年)

5年後、10年後、今を大事にしていく。社会人になると仕事と家との生活パターンがルーティンワークのようになっていく。今日の講義を受けて、ビジネス上関係なさそうなこと、人との出会いや講義を含めてすべて刺激的になり、新しいビジネスのヒントになることを意識していくこと。未来電子テクノロジーの福本さんがおっしゃっていた、横とつなげること、を意識して行動していきたい。（経営学部　経営学科　2年）

**授業スタッフの感想**

やりたいことが分からないひとは、実務経験がないというお話をお聞きして、確かにそうだなと思いました。行動することの大切さ、重要さを感じました。見たり、読んだりするだけでは分からないばかりなのに、できると思うことの危険さも感じました。行動に起こしやすい環境をつくるというのは、とてもいいと思います。一度経験できるだけで、変わることもあると思うので、そのような社会を求めている人々は少なくないと思いました。